

## 放射線に関わるリスクコミュニケーション活動状況

## 概要

- ・環境省では、環境中に放出された放射性物質対策を進めると同時に、放射線や地域の環境再生への取り組みなどについて、分かりやすい情報を提供しています。
- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター、環境再生プラザを主な拠点として活動しています。

## これまでの活動状況

2月28日時点

項目		2021年度 2月分	2021年度 累計
<b>■放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター</b>			(単位：回)
・自治体職員や相談員等の活動の支援	研修会	1	13
	専門家派遣	0	8
・住民の放射線に関する理解醸成の支援	住民セミナー	1	113
	車座意見交換会	1	26
<b>■環境再生プラザ</b>			(単位：回)
・専門家派遣	自治体など	5	35
	小中学校など	2	36
	その他	0	9
・移動展示		0 (0日)	42 (45日)
<b>■その他</b>			(WBC単位：日) (ガンマカメラ単位：台日)
・内部被ばく検査 (WBC)の支援		0	60
・ガンマカメラ活用 リスクコミュニケーション支援		8	97

## 今月の放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況

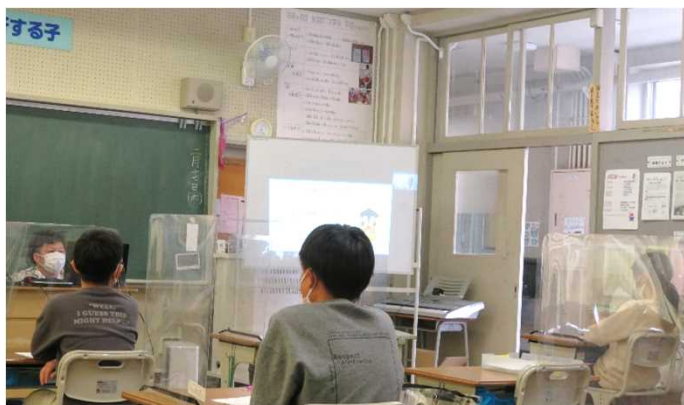
### (放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター実施分)

- ◆住民セミナー ・ 2/2 いわき市立川前中学校 (3学年)
- ◆車座意見交換会 ・ 2/16 福島市
- ◆複数市町村意見交換会 ・ 2/25 川内村・富岡町・双葉町・浪江町  
田村市・楡葉町・広野町・川俣町

### (環境再生プラザ実施分) \*一部オンラインによる実施

#### ◆専門家派遣

- <自治体など>
  - ・ 2/1 広野町環境防災課 (全3回)
  - ・ 2/7 広野町環境防災課
  - ・ 2/15 本宮市放射能対策課
- <小中学校など>
  - ・ 2/17 福島市立第一小学校 (5学年) \*
  - ・ 2/28 福島市立第一小学校 (3学年) \*



オンラインで専門家の放射線基礎講義を聞く児童たち  
(2/17・福島第一小学校)



放射線測定器ラディを使用して放射線測定の体験をする児童たち  
(2/17・福島第一小学校)